

緑のセンターだより

NO. 144 平成 23 年 3 月 1 日発行

発行元：（財）札幌市公園緑化協会

豊平公園緑のセンター

ワスレナグサ（勿忘草）



ムラサキ科 ワスレナグサ属

Myosotis scorpioides L.

ヨーロッパ原産のムラサキ科ワスレナグサ属の多年草です。わが国には明治の終わりごろに伝えられました。とりたてて目立つ花ではありませんが、ロマンチックな名前が人々の心を引きつけたのか、春にはなくてはならない花の一つになっています。

草丈 45cm ほどで地下茎から茎を出して這い、茎は稜があり分枝します。全株有毛、葉は単葉の長楕円状披針形で、全縁、互生します。根出葉は葉柄があり上部の茎葉は無柄です。春から夏に鮮青色に黄色または白い目をもつ花を、サソリの尾のように巻いた頂生する集散花序につけます。穂は5裂、花冠も高盆形で5裂、花喉部に鱗片状の突起があります。花径 0.6cm で萼には鉤毛はありません。

可愛い花にちなんで、ヒメムラサキ（姫紫）という別名がついていますが、あまり知られていません。

英名のフォーゲット・ミー・ノット（私を忘れないでください）がそのまま和訳されてワスレナグサ（別名ワスルナグサ）と

なったようですが、これについて、次のような有名な悲恋物語があります。

中世のころの話です。結婚式を間近にしたドイツの騎士ルドルフと乙女ベルタが、月の光を浴びながら、ドナウの河畔を歩いていました。そのうちに、乙女は岸辺に咲くこの花を見つけ、「なんと可愛い花なんでしょう！でも私の手では届かない」と呟きました。これを耳にしたルドルフは「あの花こそ、君の髪飾りにふさわしい」といって岸辺に行き、苦心の末に手にしたのですが、その途端、足を滑らせて激流に呑み込まれてしまいました。驚いてかけよるベルタにルドルフは「私を忘れないで！」と叫んで、花を投げ与えました。この一言を最後に、ルドルフは水中に没しました。

この哀れな若者の心を汲んで、植物学者の牧野富太郎博士は、ワスレナグサよりも、ワスルナグサのほうが適切ではないか、といわれたそうです。

現在栽培されているのは、物語に登場する野生種ではなく園芸種で、花色も本来の藍色だけでなく、白やピンクもあります。しかし人気の高いのはやはり藍色や空色種です。

チューリップなどととり合わせて植えるととても映えます。

☆栽培のポイント——丈夫で耐寒性があり、北海道でも容易に越冬します。秋まき 1年草として扱われますが、夏の涼しい地方では宿根草にもなります。春にまくと翌春まで咲かず、秋まきは通常9月中・下旬がよく、少し遅れても冬越しして春には十分開花します。床まきした場合は約40日後に定植します。鉢栽培は4~5号鉢を用います。

花言葉……私を忘れないでください。真実の愛。

(T. K.)

3月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽に問い合わせください。

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00

☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日

(月祝日の場合は受付し、翌平日休み)

☆百合が原公園 冬期は受け付けておりません

☆平岡樹芸センター 冬期は受け付けておりません

◆ ミョウガの栽培

ミョウガの原産地は日本で北海道から沖縄まで広く分布しており、北海道でも栽培しやすい植物です。
「ミョウガ竹」は、春に芽生えた幼茎を軟白したもの。「花ミョウガ」は、夏から秋に地上に顔を出す蕾を、花が咲く前に収穫したものです。

茎、葉、花蕾に独特の香りと苦味を有し、豆腐の薬味、汁の具、てんぷら、漬物などに利用されている香辛料野菜です。

1. 畑の準備

定植 20日前に、1m²当たり堆肥 2Kg、苦土石灰 100g、化成肥料 100g を全面散布し、幅 60cm の畝を作ります。

2. 種株の掘り取り

4月から5月に古い株を掘り上げて、充実した地下茎を2~3芽つけて切断します。

3. 植え付け

種株は1ヵ所に8~10cm離して3本くらいずつ、30~40cm間隔に植え付けます。覆土は10cmくらいとします。

4. 追肥

第1回目：草丈 20~30cm に伸びた頃・・・畝の長さ 1m当たり化成肥料 30g、軽く中耕。
第2回目：1回目の1ヵ月後・・・畝の長さ 1m当たり化成肥料 30g、軽く中耕。

5. 敷きわら、水やり

強光と乾燥を嫌うので、夏には敷きわらなどをし、乾燥が激しいときは水やりをします。

6. 収穫

・ミョウガ竹…春先、株の上にりんご箱などをかぶせて遮光し、若芽が 10cm くらいになった時に、2~3 日弱い光を入れてやると、ほんのり赤みがつくので、この時期に地上部を切って収穫します。

・花ミョウガ…夏から秋にかけて地際からつぼみが出てきたら、ふっくらとして中がよくしまっていて、花が開く前に収穫します。開花してしまうと著しく品質を損ねます。この時期葉が茂っていますので、つぼみを見落とさないように注意します。

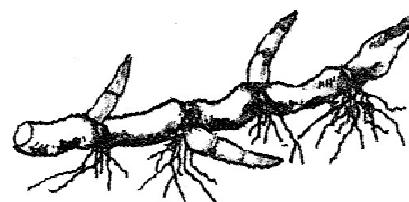
7. 間引きと追肥

植え付け2年目から、本葉6~7枚のときに、1m²当たり芽が50~80本になるように間引きます。
間引いて空いた部分に、堆肥、油粕、化成肥料などを施し、古い敷きわらも同時に鋤き込みます。

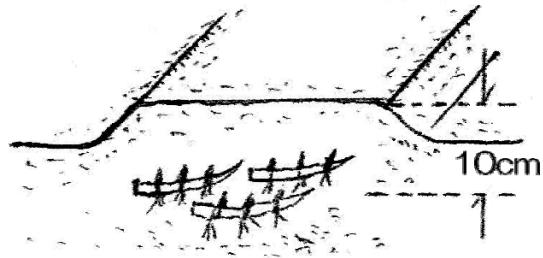
8. 病害虫

病害虫はほとんど見られませんが、まれに根茎腐敗病が発生することがあります。

- ① 植え付け時に、キャプタン水和剤 100~300倍液に 10 分間漬けてから植えつけます。
- ② 排水が悪いと発生しやすくなるので、高畝にして植え付けます。



3芽くらい付いた充実した根を選ぶ



植え付けの覆土は厚さ 10cm くらい



とり遅れると
花が咲く

ふっくらとして中が良くしまっているとき、遅れないよう収穫する。開花してしまうと著しく品質を損ねる

◆ 果樹の冬季剪定

1. 剪定の目的と効果

- (1) 樹の高さや幅を制限し、果樹や庭木の生育と調和のとれた樹形づくりをする。
- (2) 樹の大きさを制限することによって、薬剤散布、摘果、袋掛け、収穫作業などをしやすくする。
- (3) 樹冠の中まで日当たりを良くし、品質のよい果実を毎年安定して収穫する。
- (4) 各枝への養分を均一にして、樹勢を維持する。
- (5) 樹冠内の風通しを良くして、病害虫の発生を少なくする。

2. 結果習性

果樹類は、種類によって花芽がいつ、どこにつき、どのような状態で花が咲き、実が成るかということが決まっています。これを結果習性といい、次のように分けることができます。

- (1) 前年に伸長した枝の芽が、今年わずかに伸び、その先端に混合芽（リンゴでは、1芽中に数個の花と10数枚の葉、1~2本の枝を持つ）を形成し、翌年、新梢を少し伸ばして、その先端に開花・結実するもの。→ リンゴ、ナシなど
- (2) 前年の新梢の葉の付け根に花芽（花だけの芽で、葉や枝を持たない）を形成し、今年その芽が開花・結実するもの。→ ウメ、モモ、サクランボなど

3. 剪定の時期

リンゴ、ナシ、ウメ、モモ、サクランボなどは休眠期の3月上旬~4月上旬に行うのが、最も適しています。

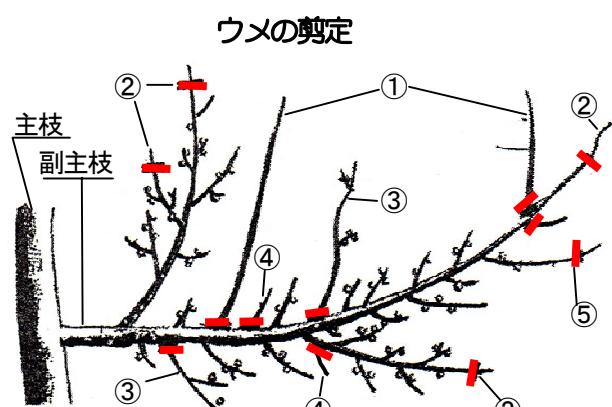
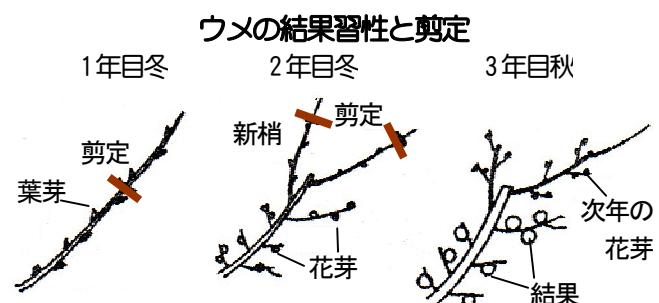
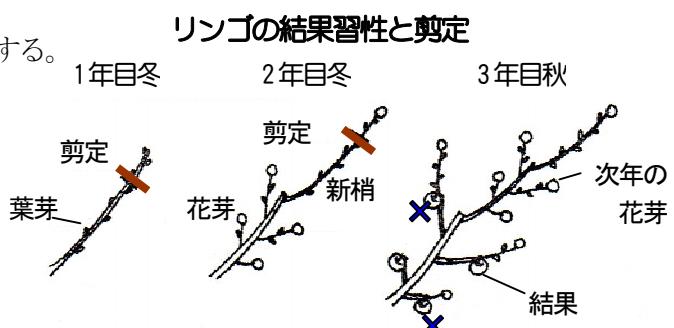
ただし、ブドウは、この時期の剪定は厳禁で、11月が適期です。

4. 剪定の種類

- (1) 間引き剪定
枝の付け根（基部）から切る剪定。込み過ぎる枝、徒長枝などの不要な枝を除くための剪定。
- (2) 切り戻し剪定
側枝、発育枝の先を切って、枝に刺激を与え、枝の成長、分枝を促す剪定。

5. 剪定の要領

- ① 徒長枝（幹や枝からまっすぐ天に向かって勢いよく伸びている枝。付くのは全て葉芽）→ 間引き剪定。
- ② 発育枝の先 → 1/3 切り戻す。
- ③ 古い結果枝（付け根に芽が無いもの）→ 間引き剪定。
- ④ 枯死した結果枝 → 切り取る。
- ⑤ 長果枝（花芽少ない）→ 1/4~1/3 に切り戻す。



◇ 石灰硫黄合剤に代わるマシン油乳剤の使用について ◇

石灰硫黄合剤が一般的な園芸店では入手困難になり、代わりに使用する薬は「マシン油乳剤」になります。

これからのお手入れ

石灰硫黄合剤を使わない防除方法は木の芽出し前にマシン油乳剤を使います。病気に対してはマシン油乳剤では効果がないので、花後10日間隔で3回程度、殺菌剤（オーソサイド水和剤、トップジンM水和剤など）を確実に散布します。特にモモの縮葉病に対してはマシン油乳剤散布の一週間後にキャプタン剤（オーソサイド水和剤）を散布します。

※ 病気の防除はしっかりと行いましょう。

マシン油乳剤使用について

- ① 殺虫作用は虫を油の被膜で覆い呼吸を出来なくして殺虫する薬です。
- ② 対象果樹と使用倍率は、商品により異なりますので説明書に従って下さい。
- ③ 落葉果樹は芽の動き出した時から、芽の殻が割れる前までに散布を終了するようにして下さい。
- ④ 調整後時間が経ち、油分と水が分離している状態で使用すると、庭木などの常緑樹は葉に異常をきたすことがあるので、調整後は日をおかないで使用するようにしてください。
- ⑤ マシン油乳剤はマツ類とサツキ類などの常緑樹で品種により薬害のことがあります。

3月～4月の催しのお知らせ

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 お問合せ先 TEL 011-811-6568

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室				
果樹類の剪定と病害虫予防	3月8日(火) 3月12日(土)	13:30～ " "	2/11(金祝)～ " "	無料
サボテンの春夏の管理	3月27日(日)	" "	3/11(金)～	" "
ボタニカルアート無料体験講習会	3月25日(金)	10:00～	" "	" "
展示会				
クリスマスローズ小展示	3月1日(火)～3月6日(日)		協力:八紘学園	
ボタニカルアート展	3月15日(火)～3月27日(日)		さっぽろ植物画同好会	入場無料
クンシラン展	3月23日(水)～3月27日(日)			
ご自宅のコチョウランをお持ちいただいて植え替えの個別指導をいたします。				
コチョウラン植え替えサービスディ	3月6日(日)	9:00～	2/11(金祝)～	材料費実費
スライド上映会				
山野草スライド上映会	3月20日(日)	13:30～	3/11(金)～	無料
森あるきスライド上映会	3月27日(日)	10:00～	" "	" "
連続講座				
ボタニカルアート講座 全10回のカリキュラムで、基礎からボタニカルアートを学べます。	4/22, 5/13, 6/10, 6/24, 7/8, 7/22, 8/26, 9/9, 9/30, 10/14(各金曜日)	10:00～	3月15日(火)～	10回で12,000円 絵の具など道具代別途かかります。

百合が原公園 緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
展示会				
ツバキ展	2月22日(火)～3月27日(日)			温室入館料130円
春の洋ラン展	3月15日(火)～3月21日(月祝)		北海道蘭友会	" "
講習会・実践講座				
ツバキの育て方	3月12日(土)	13:00～	2/11(金祝)～	130円
洋ランの育て方	3月19日(土)	" "	3/11(金)～	" "

その他の公園

イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先	
小りす工房おとなの日 「大きな木の人形」	3月10日(木) 10:00～、13:30～	1,000円・要事前申込	西岡公園	582-0050
小りす工房こどもの日 「木の人形を作ろう！」	3月20日(日)13:00～	300円・要事前申込	西岡公園	" "
冬芽観察会	3月12日(土)10:00～	50円・要事前申込	西岡公園	" "
サケたちのエサやり体験	3月12日(土)14:00～	無料・直接会場へ	さけ科学館	582-7555
イトウのおなかにさわってみよう！	3月26日(土)10:00～	無料・直接会場へ	さけ科学館	" "
ペタンク親子・初心者講習会	3月25日(金)	詳細お問い合わせください	農試公園	615-3680

